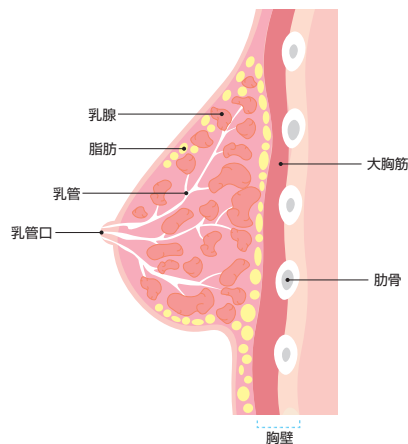


乳がん検査を受診された方へ

乳がん検査に関する用語について以下で説明させていただきます。

※精密検査の指示が出た場合は必ず当院もしくは他の医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

※マンモグラフィ検査と乳房超音波検査は見つけやすい病気が異なりますので、どちらか一方だけでも精密検査の指示が出た場合はご受診ください。



カテゴリー分類

所見が悪性である可能性を判定します。

カテゴリー 1 異常を認めません。

カテゴリー 2 良性と診断できる所見です。

カテゴリー 3 良性の可能性が非常に高いですが、悪性も否定できない所見です。再検査・精密検査が必要です。

カテゴリー 4 悪性の可能性がある所見です。生検（組織の一部を採取する）も含めた精密検査が必要です。

カテゴリー 5 ほぼ乳がんと考えられる所見です。専門医をご受診下さい。

乳腺腫瘍

乳腺腫瘍は、良性のもの（線維腺腫や嚢胞）と悪性のもの（乳がん）があります。明らかに良性のもの以外は診断のために精密検査が必要になりますので必ず医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

乳腺嚢胞

乳腺で分泌された乳汁を乳頭に運ぶ乳管の一部が袋状に膨らんだ状態を嚢胞といいます。乳房超音波検査ではよく認められる所見です。悪性の心配はなく、精密検査の必要はありません。1年に1回の乳房超音波検査で経過を観察してください。

乳腺線維腫

比較的若い女性の乳腺に発生する良性の腫瘍です。超音波検査で診断されるようなかなり小さい腫瘍（5mmくらい）から触診でも確認できるような大きな腫瘍の場合もあります。大きなものや形が不整なものは、診断のために生検（組織の一部を採取する）が必要な場合があります。

乳管拡張

乳腺で分泌された乳汁を乳頭に運ぶ乳管が通常より拡張した状態です。正常乳腺でも認められる所見ですが、乳がんが関係している可能性もありますので精密検査の指示がある場合は医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

乳腺症

乳腺は女性ホルモン（エストロゲン）によって刺激され、月経周期によって変化しています。乳腺の一部に、局所的に増殖と萎縮が強い部分があるとしこりや痛み、乳頭分泌などの症状が認められます。これを乳腺症といいます。悪性の疾患ではなく、治療の必要性はありませんが、乳がんとの鑑別する必要があります。場合によっては生検（組織の一部を採取する）によって診断します。

乳腺石灰化

乳腺内や周囲組織にカルシウムが沈着したもので、良性のものと悪性のもの、両者の判断が難しいものに分けられます。良性のものはそのまま問題ありませんが、判断が難しい石灰化は経過観察や精密検査が必要で、専門医の診察が必要となります。医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

局所的非対称性陰影 (FAD : Focal Asymmetric Density)

マンモグラフィの診断用語に局所的非対称性陰影（FAD）という言葉があります。乳腺の密度は個人差が大きく、また、同じ乳房でも乳腺の密度にばらつきがあります。乳腺密度が局所的に高い場合、局所的非対称性陰影と診断されます。腫瘍陰影と高密度の正常乳腺の陰影との区別が難しいことがあり、精密検査の指示がある場合は医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

リンパ節

リンパ節は体内の免疫機能に重要な働きをもつ器官で全身に分布しています。乳房に関係したリンパ節（乳腺所属リンパ節）はわきの下や鎖骨の下、鎖骨の上、胸骨の傍らにあり、正常乳腺でも認められる所見ですが、形や大きさによっては乳がんが関係している可能性もありますので精密検査の指示がある場合は医療機関（乳腺科など）をご受診ください。

